

整理番号	HT29251	分野	歴史	キーワード	日本考古学、古代史
------	---------	----	----	-------	-----------

研究機関名	関西大学				
プログラム名	漏刻が計る古代の時間～水落遺跡の古代水時計を知ろう～				
先生(代表者)	米田 文孝(よねだ ふみたか)・文学部・教授				
自己紹介	<p>仏教が日本に来た道をもとめて約25年、仏教のはじまりの地であるインド共和国で仏教遺跡や都市遺跡の発掘調査を行ってきました。その後、寄り道、道草をはさみながらユーラシア大陸を東にすすみ、仏教が日本で最初におこった奈良県の飛鳥(あすか)の地にたどり着きました。1400年前から約1世紀間、倭国・日本国の宮都であった国際都市、飛鳥の姿を一度目にしたいと、夢想しています。</p>				
開催日時・募集対象	平成29年8月2日(水)	受講対象者	小学校(5・6年生)	募集人数	30名
集合場所・時間	関西大学千里山キャンパス内 関西大学博物館(簡文館)前		(集合時間)	午前9時30分～午前10時	
開催会場	関西大学千里山キャンパス第一学舎、関西大学博物館、高松塚古墳壁画再現展示室 住所: 〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 アクセスマップ: http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/index.html				
内 容					
<p>漏刻とは、水時計の一種です。古代中国で発明され、日本には飛鳥時代に伝わりました。現在の奈良県明日香村にある水落遺跡が、その施設であると推定されています。本プログラムでは、水落遺跡などの飛鳥時代の遺跡を通し、歴史を学んでいきます。今回は「水時計」と「時刻」をキーワードに、飛鳥時代の人びとの文物と世界を体感します。最新の調査成果をもとにしたミニ講義やCG画像、紙芝居などで飛鳥時代を知ったのち、水時計作り体験や「考古楽カルタ」を使ったグループ学習を行い、現代生活の出発点となった飛鳥時代を実感します。当日はスー(朱雀)、タイガ(白虎)をはじめ、高松塚古墳・キトラ古墳に描かれた四神のゆるキャラたち(アスカ戦隊四神ジャー)がみなさんを歓迎します。</p>					
				持 ち 物	
9:30～10:00 集合・受付(関西大学博物館前)				筆記具・手提げ紙袋・手拭い	
四神ゆるキャラたちによる歓迎セレモニー					
10:00～10:15 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)				特 記 事 項	
10:15～11:00 パワーポイントを用いたミニ講義「飛鳥時代の最新技術」、CG「水落遺跡と漏刻」(約12分)の上映				<ol style="list-style-type: none"> 参加者はご父母様等1人以上の付き添いが必要です。 プログラム実施会場(関西大学)までの送迎は、ご父母様等の責任下でお願いします。 自転車でお越しの際は、駐輪場をご利用ください。また、駐車場がないため、車でのご来場はご遠慮ください。 	
11:00～11:15 休憩1					
11:15～11:30 パペット(タイガ・スー)を用いた紙芝居上演					
11:30～12:00 飛鳥クイズ					
12:00～13:00 昼食・休息					
13:00～14:00 漏刻製作実習(ペットボトルを使った水時計作り体験)					
14:00～14:30 高松塚壁画再現展示室、博物館、考古学研究室見学					

14:30～15:00 休憩2(クッキータイム)、受講生・学生との懇談	4. 手提げ紙袋(水時計を持って帰るため)、手拭い(水を使うため)をご用意ください。
15:00～16:00 トランプ型の「考古楽カルタ」を用いたグループ学習	
16:00～16:10 休憩3	
16:10～17:00 修了式(未来博士号授与、アンケート記入)の後、 「あすかの庭」において記念写真撮影	
17:00 プログラム終了、解散	

《お問合せ・お申込先》

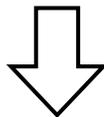
所属・氏名：	関西大学博物館・石立弥生子、山口卓也
住所：	大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
TEL 番号：	06-6368-1171
FAX 番号：	06-6388-9928
E-mail：	hakubutsukan@ml.kandai.jp
：	平成29年 7月26日(水)

※当プログラムは先着順にて受付を行います。

※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行い、7月31日(月)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。

《プログラムと関係する先生(代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
米田 文孝	H27～ H29	挑戦的萌芽 研究	15K12947	古代寺院荘厳具の復元的研究 ～川原寺裏山遺跡出土金属製品を 中心として～



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。